

■狩野探幽 画家。画壇で狩野家の地位を確立し、幕府御用絵師江戸狩野の世襲化を実現した。

かのうたんゆう

東本願寺創建1602＝ 狩野永徳の子孝信の長男に生まれる。幼名は宰相。

時の政権の動きに機敏に対応して勢力を伸ばしてきた狩野派は、徳川幕府の成立とともに江戸への進出を図り、幕府の要請に従ってその居城修築に必要な絵師を送り込んだ。

家康駿府退隠1607＝ 5歳：

探幽もその一人として父と共に江戸へ下り、

絵師(画家)・以後

山田長政渡航1611＝ 9歳：

キリスト教禁止・1612＝10歳： 駿府で家康と秀忠にお目見得。

大坂冬の陣・1614＝12歳： 将軍秀忠の御前で絵を描き、永徳の生まれ変わりだと称賛され、印を賜る。

徳川家康没・1616＝14歳： 江戸城紅葉山靈廟に天井画「龍」を描く。

吉原遊郭始・1617＝15歳： *京より江戸に召されて幕府御用絵師となり、父の跡目を弟尚信に譲る。

・・・1618＝16歳： 父孝信没。

菱垣廻船始・1619＝17歳： 女院御所の障壁画制作に従事する。

支倉常長帰国1620＝18歳： 御用絵師でなくいわゆるアルバイトとしては「醍醐寺理性院障壁画」が最初。

利根川付替始1621＝19歳： 鍛冶橋門外に屋敷を拝領。

徳川家光将軍1623＝21歳： *京都の狩野宗家を弟安信に継がせ、自らは別家して鍛冶橋狩野家をおこす。

人身売買禁止1626＝24歳： 二条城二の丸障壁画「松鷹図」では、祖父永徳の豪放な巨木表現をさらに展開すべく意欲を示す。

紫衣勅許無効1627＝25歳： 「金地院方丈障壁画」、

紫衣事件・・・1629＝27歳：

江戸幕府の安定にすばやく対応し、弟たちを相ついで江戸へ下らせ幕府の画事に携わり、幕藩体制の中で御用絵師としての地位を固め、自らを中心とした江戸狩野を確立して行き、

徳川秀忠没・1632＝30歳：

鎖国令始・・・1633＝31歳： 「筑波山神社三十六歌仙図額」。名古屋城上洛殿障壁画あたりを境に筆数を減じ、余白の余韻を生かした瀟洒で淡白な画風へと転ずる。

鎖国令Ⅱ・・・1634＝32歳： 「浅間神社三十六歌仙図額」。

参勤交代始・1635＝33歳： 剃髪して探幽と号する。

東照宮完成・1636＝34歳： 「大徳寺法堂天井画」。「東照宮縁起絵巻」の制作を命じられる。日光陽明門の「雲龍図」を描く。

島原の乱終・1638＝36歳： 「尾張藩江戸上屋敷鎖之間の張付絵」。幕府への多年の功績により法眼に叙された。

寛永飢饉始・1640＝38歳： 「東照宮縁起絵巻」成る。

光光鎖国完成1641＝39歳： 「大徳寺方丈障壁画」。大徳寺本坊障壁画「山水図」はその完成された姿である。

初の高札・・・1642＝40歳： 「聖衆来迎寺客殿障壁画」。禁中造宮に際し、紫宸殿の「賢聖障子絵」を描く。

寛永飢饉終・1643＝41歳： 「三十六詩仙図額」を制作。朝鮮国王へ贈呈の屏風絵。

・・・1647＝45歳： 江戸城本丸大広間障壁画を制作。

市中諸法度・1648＝46歳： 増上寺障壁画を制作。

御蔭参流行・1650＝48歳： 「鳥取栲谿神社三十六歌仙図扁額」「前田利治江戸屋敷障壁画」、江戸城西の丸障壁画。

徳川家光没・1651＝49歳： 日光靈廟に制作。

野郎歌舞伎始1653＝51歳： 長男誕生。

新利根川完成1654＝52歳： 次男誕生。「妙心寺本坊方丈障壁画」。

・・・1655＝53歳： 禁裏造宮の御絵御用のため上洛。朝鮮国王へ贈呈の屏風絵。

・・・1656＝54歳： 江戸大火で探幽の家も焼失。「妙心寺法堂天井画」

明暦の大火・1657＝55歳：

朱舜水帰化・1659＝57歳： 「百人一首図屏風」。再建江戸城の障壁画。

清帝国始・・・1661＝59歳： 江戸城内で諸作するほか「両帝図屏風」を描く。

松平信綱没・1662＝60歳： 丹羽光重が黄檗山に寄進する「十八羅漢像並びに列祖像」。*禁裏御用で「賢聖障子絵」を描く。画家として最高位の法印に叙された。

殉死の禁止・1663＝61歳： 「芝山宣豊邸障壁画」。

・・・1664＝62歳： 後水尾法皇に召され、印を拝する。鷹司信子の輿入れに際し、調度品として「新三十六歌仙図帖」を描く。

諸宗寺院法度1665＝63歳：

酒井忠清大老1666＝64歳：

入鉄砲出女令1667＝65歳： 「富士山図」。

ジャクシャンの乱 1669＝67歳： 「大徳寺玉林院障壁画」。

・・・1670＝68歳： 大徳寺孤蓬庵方丈障壁画「波涛群燕図」「尾長鳥図」を描く。中風にかかり、

越後屋オブン 1673＝71歳： 「日蓮上人竜之口法難図」(本法寺)など、

・・・1674＝72歳： *なお描き続けるうち、没した。